

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
4 - 1 - 1	消費者ニーズに対応した農林産物を創出する
重点施策ID	重点施策名
4 - 1 - 1 - 4	資源循環型農業の推進

2. 事業名等			
事業名	自給飼料確保向上対策事業	事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名		実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ()
事業主体	市		④ ①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務		④その他 (事業費補助)
実施期間	平成 20 年度 ～ 平成 22 年度	根拠法規	豊後大野市自給飼料確保向上対策事業補助金交付要綱
各種の計画への反映 (=根拠計画)		豊後大野市農業振興計画	事業ID

3. 事業の内容等			
事業の背景 飼料価格の高騰による生産費への影響は大きく畜産経営は極めて厳しい状況におかれているため、自給飼料生産の推進及び定着を図るとともに、畜産の更なる生産性の向上等を図り、飼料資源等をめぐる新たな国際環境に対応できる生産構造の確立が急務である。	補助事業	名称	国 県 その他
		補助率	1/ 1/ 1/
	起債の種類	①	
		②	
		③	

事業の目的及び対象		事業概要	
【目的】 自給飼料生産の推進を図るとともに畜産の更なる生産性の向上等を図る。		[補助対象]畜産農家又は畜産農家と飼料栽培契約を締結する耕種農家等が当該年度の作付用として飼料種子販売機関から飼料種子を購入した場合における当該購入に要する費用。 [補助率]飼料種子の購入金額が1万円を超えた場合に、その超えた額の2分の1に相当する額以内。	
【対象】 畜産農家、耕種農家		前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容
		E	
		維持	

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源計				5,500	9,500	9,500	
決算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源計				5,500	9,500	9,500	

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
		【実績】 畜産農家：90人 耕種農家：14組織 作付面積：43,864a	土壌改良及び基盤整備等による収量増大と適期作業の行うための機械整備及び組織の育成強化の促進。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	助成額						
効率指標	-						
成果指標	粗飼料作付面積						
	単位						
	a						
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別				面積	面積	面積	
目標値				63,507	63,507	63,507	
実績値				43,864			
達成率				69.1%			
備考							

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	飼料及び資材費の高騰や畜産物価格の低迷等に対応するためには、粗飼料自給率の向上が重要であるため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	民間による補助が行われておらず、行政が実施主体となる必要がある。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	種子購入費に係る経費の一部を行政が補助しており、代替手段が少ない。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	畜産農家の飼料作付面積拡大にかなり高い効果があるため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	本事業は肉用牛を振興するためには不可欠であり、現行規模を維持する必要があるため。				
人 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	兼任業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	肉用牛振興に寄与しており、現状維持が望ましいため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
市単独事業であるため、補助金の交付額及び交付条件等の見直しを検討する。					
部長	課長	班長	担当者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	